

広報

Nakijin

# な き じ ん

2004年3月  
340号



今帰仁村

● 今帰仁村の人口 男4,815人(+9) 女4,765人(+1) 計9,580人(+10)  
世帯数3,542(+10) 平成16年1月31日現在  
ホームページアドレス <http://www.nakijin.jp>

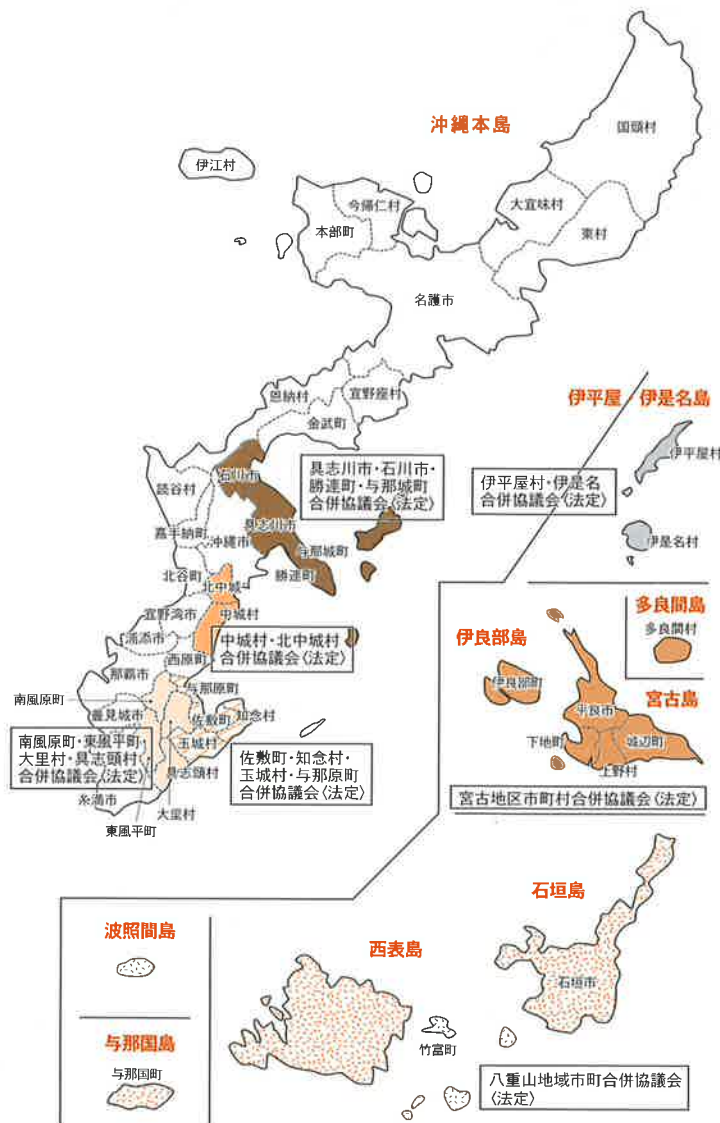


# 市町村合併に関する情報(1)

## ● 沖縄県における市町村合併の推進状況

現在、県内において法定協議会を設置して合併に取り組んでいる市町村は宮古地区、「具志川市・石川市・勝連町・与那城町」地区、「伊平屋村・伊是名村」地区、八重山地区、「南風原町・東風平町・大里村・具志頭村」地区、「佐敷町・知念村・玉城村・与那原町」地区、「中城村・北中城村」地区の七カ所あり、それぞれの地域で合併に関する継続的な協議を行っている。このまま合併がまとまれば、現在ある五十二市町村が三十四に再編される。

また、県はこれまで北部市町村の合併基本パターン「名護市・本部町・今帰仁村・伊江村・伊平屋村・伊是名村」地区、「国頭村・大宜味村・東村」地区、「金武町・宜野座村・恩納村・石川市」地区を示してきたが、そ



れはあくまで一つのたたき台であって、具体的には各市町村の自主性を重んじることを前提としている。

県としては第二十七次地方制度調査会の答申を踏まえて、今後とも、県内における合併に向けての市町村体制を指導、支援を行いつつ、強力に推進していきたいとしている。

## ● 北部地域における状況

北部地域では伊江村がす

に住民投票の結果を受けて合併をしない決定を下しています。伊平屋村、伊是名村については法定合併協議会を設置し、

合併特例法の期限内合併を目指して協議が進められています。今帰仁村としては、県が示した合併パターンを尊重しつつ、合併問題には取りまとめ役なくしては進展しないので

北部の中核都市で、北部地区の総人口の半数近くを抱える名護市のリーダーシップに期

待するとともに、名護市に対して本部町とともに合併協議会の立ち上げ要請を行っています。

現在、北部十二市町村においては、名護市を中心に北部地区合併問題研究会を設置して、各市町村の行政制度の現況調査を実施し、現況分析を行っている。これは各市町村の現在の財政状況や問題

点などを担当者レベルで分析することによって、合併に

対する共通理解を深めるのが目的。

その中で合併の枠組みを十二万人規模の市を目指すことになり、都市としての存在感やイメージアップが図られるとした上で、関係市町村がそれぞれ抱えている主要な政策課題等についても、合併後は地域全体の課題として捉え、広域的調整により効率的な推進ができるものとしている。

この研究会においては今後、担当者レベルから三役レベルに引き上げて活発な意見交換が行われる。

## ● なぜ、今、合併なのか。

県内においては、これまで合併協議はあまり行われていなかった。それなのになぜ今頃合併の話をするのか、疑問に思っている方もおられると思います。平成七年五月に地方分権推進法が制定され、分権が進んだら市町村の業務が多くなり、それを担うことができるかという議論は、当然その頃から出てきていた。なぜ気づくのが遅かったのか

と言うと、この法律の制定のもとで地方分権推進委員会が設置され、最初から合併の問題を出したら、分権に支障が出ることで合併問題は棚上げにして分権作業を先に進めたという経緯がある。

そして、分権が進んでいく状況の中で、市町村の行財政問題が取り上げられ、これを解決しなければいけないとの観点から合併問題が出てきた。合併特例法が平成七年に改正になったとき、大きく変わったことは、「自主合併」ということが法律の中に盛り込まれ、「住民発議」制度が導入されたことである。

県内では、今回この住民発議制度を活用したのが久米島町であり、同町は住民発議のもとで署名活動が行われたから合併が成功したといわれている。

●地方制度調査会答申内容

平成十七年三月の市町村合併特例法の期限切れを控え、各地で合併協議が進む中、政府の地方制度調査会は次のような最終答申をまとめ

た。

- ① 都道府県が合併構想を練る。
- ② 対象は「おおむね人口一百万未満」。
- ③ 住民に身近な自治を担う地域自治組織を設置。

新組織の中で、議会にあたる「地域協議会」のメンバーは無報酬。自治組織の長は基礎自治体の長が選任するとしている。

●平成十七年四月以降の合併推進について

- ① 平成十七年四月以降も合併に関する新しい法律を制定し、一定期間さらに合併を推進する。
- ② 都道府県が市町村合併に関する構想を想定、合併に関するあつせん、勧告を実施。
- ③ 平成十七年三月三十一日までに市町村が議会の議決を経て都道府県知事に合併の申請を行い、平成十八年三月三十一日までに合併したものについては、現行の合併特例法の規定を適用し、財政支援措置等を講じるとしている。

# 雪国酒田の冬も満喫

## 第十四回 今帰仁村ふれあい少年の翼

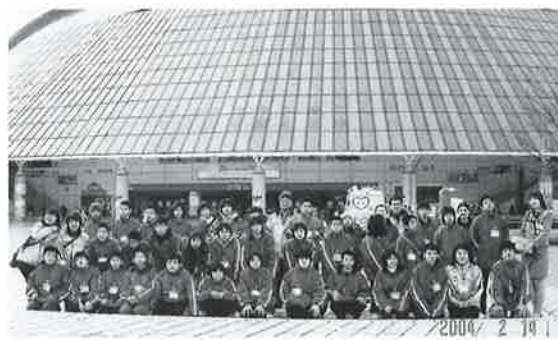
沖縄では味わうことので

きない雪国の自然や文化を体験し、酒田市の児童らと交流を深める「第十四回今帰仁村ふれあい少年の翼」(団長座間味法子湧川小学校長)の一行四十四名が、二月十一日から四泊五日の日程で、今年も山形県酒田市を訪れた。

庄内空港での大歓迎の横断幕で迎えられ、感激と共に身の引き締まる思い出研修の第一歩を踏み出した。翌日は心待ちにしていた羽黒山でのスキー教室、酒田遊雪会の皆さんの懇切丁寧な指導のおかげで全員が滑れるようになり大満足。

三日目の広野小学校での出合いの会では、「島唄」のコーラスの歓迎で和やかな雰囲気の中「北前太鼓」「翼を下さ

い」いまじん太鼓、鳩間節の双方のアトラクションでは心動かされた子ども達でした。



▲東京ドーム前で記念撮影

はじめての民泊家庭での楽しい一日を体験した団員、「酒田に来て本当に良かった」と目を輝かせる子ども達の様子、別れの会での涙の別れを見るに付け、交流の大切さを感じました。

心の翼を大きく広げて飛び立った子ども達は、多くの出会いと感動を何よりの心のおみやげに、一回り大きくなりました。



▲東京タワーで買い物を楽しむ四人組



▲全員が滑れるようになったスキー教室



# 北山回想 (続編) 落ち穂拾いの記(十二)



## 黄金期ここに甦る

運天政



この度、県教育委員就任という事になった。

さて、二人を紹介する話が三人になってしまったが、半世紀前この三人は北山高校生であった。この頃はまさに北山の第一期黄金時代、因みに七期は二九名、八期は三一名が琉大に進学(八期はこれに国費留学生三名が加わる)している。話題の三人も共に琉大に進学し、教職に就いたが、その後の研鑽、挙げた実績が高く評価され、周囲の信頼を得て県教育界のリーダーに栄進したものと、その努力と精進に深く敬意を表するものがある。

これら三名の今日あるを思うとき「黄金期、いま甦る」の感を深くするとともに、あらためて北山高校草創期の諸先生方の偉大さを思う。そしてこの三人が揃って琉大出であることに思いを致すとき、草創期の諸先生方が深く敬愛していた我等が郷土の教育界の二大巨匠、仲宗根政善・与那嶺松助両先生の遺徳がいまさらのように偲ばれるのである。

去る一月三十一日、那覇・安里にあるホテル西武オリオンに於いて、七・八期、それに有志の会を加えた三者共催による、徳山盛彦氏(七期・運天)の県教育委員長、及び玉城(旧姓大城)昭子氏(八期・兼次)の県教育委員、同時就任の合同祝賀会が開催された。



玉城氏 徳山氏 仲里氏

両氏とそれぞれ同期生にあたる謝花弘同窓会長、同窓会理事の佐竹道憲氏を中心に若千名で準備会を持ち、まず七・八期生全員、それに両期前後の教育関係者を加えて呼びかけをしたところ、八十名がこれに呼応、当日の駆け込み参加を加えて九十余名が出席した。予想以上の参加者で会場は熱気をほらみ、幹事側は制約時間を睨みつつ、スケジュールをこなすのに汗だくの盛況ぶりだった。

同時に名を連ね、しかも一人は委員長のポストを占めるというこの快挙。これを祝賀・激励せずにはいられようかということ、不肖私も有志の一員としてこの祝賀・激励会に参加、後輩二人の栄達を心から祝し、激励をしたのである。

次に、玉城昭子氏については、本広報七月号「陸上こぼれ話」でスプリンターとしての華々しいエピソードを紹介したが、そのキャリアを補足すると、琉球大学体育学科を卒業後、名護高校教諭で教職スタート。二年後、当時琉大付属中学校として新設された松島中学校教諭に引き抜かれ、七年後さらに引き抜かれて琉球大学教官への道に進み、以後は大学において体育人(指導者)育成に専念。昨年三月琉大教授を退官し、

ところで、県教育委員会とはどんなところなのか、平たく言えば、県下二十一万余の児童生徒、それに一万三千余の教職員が直接かわる教育の諸施策の指針を審議する行政機関である。この構成委員六名(県教育長を含め)の中に、本校七・八期の卒業生二名が

思えば十二三年前、私が現職の終わり頃のことである。当時、徳山盛彦、仲里長和(七期・具志堅)の両氏は県教育庁に勤務していた。職務がら、しばしば県教育庁を訪ねた私が耳にしたのは、「この両氏のどちらが県教育長になってもおかしくない」という下馬評であった。高校の同期生同士が県教育界のトップ争いか、と感じ入ったものである。

数年後(私が退職して三年目)予想にたがわず、仲里氏が浦添高校長から県教育長にな

# 村商工会が

## 設立三十年を祝う

村商工会の設立三十周年記念式典と、祝賀会が一月二十九日、商工会館で開かれ、商工会員ら百人が出席して、設立三十周年の節目を祝った。

宮城康吉商工会長は「きびしい社会情勢ではあるが、村行政、地域と協力しながら村の発展に尽くして行きたい」とあいさつ。仲里吉徳

村長は、「三十周年の機会により一層活力ある商工会づくりに励んでほしい」と述べた。

式典では、歴代の商工会長や役員らの功労者表彰もあつた。また祝賀会では村内の琉舞道場や商工会員による余興が披露され、三十周年に花を添えた。



▶中央公民館で楽しく「今帰仁料理」を味わった

### 三重県の「伊賀の里モクモクファーム」の社員百二十人が

### 本村で交流

農産物の生産、販売、農業体験など全国的に人気を呼んでいる三重県の「伊賀の里モクモク手づくりファーム」の社員百二十人が一月十九日、本村を訪ね、村議員、商工会員らと交流を深めた。

昨年五月、村議会経済工務委員らが視察研修をした縁で

今回の交流が実現した。同ファームは、全国から年間五十万人が訪れ、三十億円の売り上げがあるという。

一行は、村営闘牛場で迫力ある闘牛を観戦した後、中央公民館で沖縄在来の豚「アグー」、すいかなど村の特産品を生かした昼食を味わった。



▶三十年の歴史を語る 宮城康吉村商工会長

## 今帰仁城跡を 様々な視点から検討

世界遺産 国際シンポジウム

「東アジアの城郭遺跡を比較して」をテーマに一月十七日、世界遺産国際シンポジウム「グスク文化を考える」(主催・今帰仁村、村教委、名護市、市教委が名護市民会館で開かれ、

県内外の研究者や関係者ら約

六百人が参加講演・ディスカッションが行われた。

記念講演で今帰仁城跡調査研究整備委員長として長年かわった坪井清足さんは、城跡内の大庭を含めいゝんな郭が未調査であり課題が多いと話し、本土にならつて専門家を統合した「グスク研究所」を設立するよう提案した。

琉球・沖縄の歴史文化に関する著書なども執筆しているドイツのボン大学教授、ヨゼフ・クライナーさんは講演で、中世の地図には日本本土よりも琉球列島がくわしく描かれ、ヨーロッパから注目されていた歴史を述べた。

二日目の十八日は「今帰仁城跡周辺遺跡めぐり」が行われ、県内外から約三百人が参加。村歴史文化センターを出発し、城跡内の石積の様子や、ノロ殿内の火の神の祠などを見学した。



▲600人が参加した名護市でのシンポジウム



▲村文化財係の説明を熱心に聞く参加者



# 九氏が村民に感謝

## 叙勲受章祝賀会 県教育委員就任激励会



▲多くの親族がかけつけた祝賀会、激励会

これまで地方自治や教育、文化など各分野での功績により叙勲を受章した方々をたたえる祝賀会と県教育委員に就任したお二人の激励会が二月五日、村コミュニティセンターで開かれ、親族ら約二百人が祝福、激励にかけつけた。

祝賀会で仲里吉徳村長は、「皆様は村民のかみとも言うべき立派な方々です。村に誇りをもってそれぞれの地域で活躍してほしい」とあいさつした。

受章者の上間博安氏(崎山)はこの受章は、村民のおかげみんなに感謝したい」と喜びを語った。また一月から県教育委員長に就任した徳山盛彦氏(運天)は「村出身の立派な先輩方の恩は忘れない。村の教育のために側面からサポートしていきたい」と決意を述べた。

叙勲の受章者と、県教育委員に就任した方々は次のとおり

△西平守儀氏(天底、那覇市在住、瑞宝章) △仲宗根健三氏(与那嶺、那覇市在住、瑞宝章) △上間博安氏(崎山、旭日章) △仲宗根武一氏(今泊、瑞宝章) △山城正氏(兼次、藍綬褒章) △宮里政林氏(越地、那覇市在住、黄綬褒章)

口徳山盛彦氏(運天、那覇市在住、平成十六年一月県教育委員長) 口玉城昭子氏(兼次、那覇市在住、平成十六年一月県教育委員)

## 五十周年の機会に決意新たな本部地区防犯協会が式典、祝賀会

本部地区防犯協会の創立五十周年を祝う記念式典、祝賀会が二月十三日、本部町会館で行われ、関係者約三百人が節目を祝った。

同協会は、五十周年の記念事業として、防犯意識の高揚を図る目的で、今帰仁村、本部町などに五基の防犯塔を設置。五十年の活動をまとめた記念誌の出版も予定している。

田中英治防犯協会長は、「犯罪が凶悪化、低年齢化、多種多様化しているが地域と連携して、安全、安心な町、村づくりをめざしたい」とあいさつした。



▲功績のあった多くの方々に感謝状が贈られた。

## スポーツクラブでむらおこし

### スポーツ講演会

『新しいスポーツクラブでむらおこし』をテーマにむらおこしスポーツ講演会主催・日本体育協会・スポーツクラブなきじんが一月二十八日、村コミュニティセンターで行われた。

総合型地域スポーツクラブを多くの方に理解してもらおうと講師には篠崎豊氏(スポーツ&文化イ

ベント協議会代表幹事)と尾尻義彦氏(琉球大学保健学科講師)を迎え、会場には多くの村民が詰めかけた。

講演のはじめは尾尻先生から「総合型地域スポーツクラブ」の意義について説明があり、その後本村の豊かな自然を生かした「今帰仁ウォーキングむら構想」の提案がなさ

とあいさつした。

式典では歴代会長など五十個人、八団体、十四事業所に感謝状が贈呈された。

れた。引き続き篠崎先生からは、全国各地のクラブ創設事例を交えながら地域型スポーツクラブの成功のためのヒントを助言。「自分たちの手で創造しようという強い意欲と責任を持ち、クラブの事業性を重視し、しっかりと運営に当たることが大切」と聴衆者に熱く語りかけた。

(同事業は、スポーツ振興くじtotoの助成を受け実施しています。)

# チャレンジが優勝

村バスケットフェスティバル

バスケットボールを楽しみ、交流を深めることを目的に

村体育協会主催による第二十二回村バスケットフェスティバルが二月十五日、村民体育館で開かれ、七チームが参加して熱戦を繰り広げた。  
決勝戦は前大会の優勝チーム、マティエールを下して波に乗るスポーツショップチャレンジと前回の準優勝チーム、ジャパナーズの対戦となり若さで勝るチャレンジが序盤から得点を重ね一〇三対六六の大差でジャパナーズを振り切って優勝を飾った。

## 新春に二十四ペアが熱戦を展開



### 新春バドミントン交流大会

一月二十五日新春交流バドミントン大会(主催・財日本体育協会・スポーツクラブなきじん)が村民体育館で開かれた。

今大会はジュニア(小学高学年・中学生)、一般(高校生以上)、スペシャル(経験者の三部門に二十四ペアが出場

して熱戦を繰り広げた。各部門の優勝チームは次のとおり

△ジュニア・田港萌花(天底)、石川舞子(渡喜仁)

△一般・真喜志康政(渡喜仁)、前川達次(名護)

△スペシャル・堀真一(北山高)、玉寄涼(北山高)



リング下でボールを奪い合う決勝戦



スペシャルの部で優勝した北山高ペア

## 北山(男子)連覇ならず、惜しくも準優勝

県高校新人駅伝大会

第十一回沖縄県高校新人駅伝競走大会が二月二十六日、村運動公園を発着点とする本部町折り返しコースで行われた。

二十二校が参加した男子の部は、連覇を狙う地元北山高校がレース後半半追い上げたものの、トップと一分十二秒差で惜しくも優勝を逃がした。女子は、目標の八位入賞に届かず十二位という結果に終わった。

なお、男子の部は北部農林が二時間二十八分十八秒で初優勝。女子の部は豊見城南が一時間十六分二十三秒の大会新記録で優勝を飾った。



▲花の1区を走る仲里陽介選手(左から2番目)



▲2位でゴールするアンカーの平良和之選手



▲12位でゴールする金城見徳子選手



# ハーベスター 古宇利島に初上陸

## 「小型ながら大きな力」



▶刈取り作業をする  
小型ハーベスター

村では、さとうきび農家の高齢化に伴う収穫作業の省力化、機械化作業体系の確立による規模の拡大と生産の向上を図るため、平成二年度から平成四年度にかけてさとうきび作低コスト化推進緊急対策事業等で中型ハーベスターを三台導入した。

また平成十二年度農業生産総合対策条件整備事業により小型ハーベスターを導入し、農家の需要がより高まった。それにより平成十五年度で同事業にて二台を追加した。今までのハーベスターによる刈取りは本島だけで行われていたが古宇利区でも利用したいとの気運が高まり、平成十四年に農事組合法人古宇利さとうきび振興組合を設立し、今回一台導入、また一台は農協で導入する運びとなった。

今期古宇利区でのさとうきびの生産見込が二、四四五トンで、うちハーベスター刈取りの申込が、六百トンであった。組合では「更に申込みがあり、今後機械化作業体系が確立され、さとうきびの面積拡大につながる。」と自信を深めている。

# 今年もにぎやかに 山芋スー卜

越地山芋同好会

越地区の旧正月の風物詩となった越地山芋同好会(玉城政治会長、会員十七名)による山芋スー卜(勝負)が一月二十二日同区の上間正秀氏宅でにぎやかに行われた。

今年では会員十四名が一年間丹精込めて育てた山芋を出品、合計三百キロの収穫になった。優勝したのは一株から三十七キロ収穫した平良尊俊さん(越地二六〇)。

三十四キロを掘り出し三位になった富山清廣さん(越地一四)は「会員が栽培方法を学び努力して年々収穫量がふえている」と笑顔で話した。

# 山城さん、与那さん、 今泊クラブが表彰される

県野球連盟北部支部

県野球連盟北部支部の創立三十周年記念式典が一月八日、名護市のJAおきなわ羽地支店で開かれ、同支部の発展に尽力した会員らに表彰状を贈り功績をたたえた。

小橋川松晋支部長は「今後とも地域の皆様と密接な関係を保ちながら、北部の野球界の発展、技術の向上に努力していきたい」と話していた。村関係で表彰されたのは次のとおり。

〔北部学童野球の発展向上に尽力した功績〕山城利和(今帰仁ジュニア監督)・与那勇(夢天使監督)(連盟の発展運営に協力したクラブチーム)今泊クラブ(仲宗根武志監督)

労働安全衛生法に基づく

## 各種免許試験案内

試験の種類	上 期 日 程					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
二級ボイラー技士	20	11	10・22	13	2	13
クレーン運転士	21	17	9	7	10	9
移動式クレーン運転士	7	13	15	14		2
衛生管理者	22	25	16	6・21	9	7
潜水士	8			15		

※このほかに13種類の試験を行っています。

問い合わせ先/九州安全衛生技術センター

〒839-0809 福岡県久米市東合川5丁目9番3号 TEL0942-43-3381



▲旧正月を楽しく過ごした越地山芋同好会



## 親子ふれあい 陶芸教室

参加者  
募集!

期 日:3月20日(土)午後2時~  
場 所:村コミュニティセンターホール  
受講者定員:親子15組(30名)定員に達し次第しめ切ります。  
受講料:無料  
申し込み:3月16日まで(社協56-4742まで)  
主 催:今帰仁村社会福祉協議会

## 平成16年度貸与奨学生の募集について

- 1 応募資格:
- (1)日本国籍を有し、沖縄県内に本籍または住所を有する者の子弟で、次のいずれかに該当する者
    - ①平成16年度に沖縄県内の高等学校に入学する沖縄県出身の生徒
    - ②国内の大学、大学院、専修学校専門課程、高等専門学校に在学する者若しくは平成16年度に入学する者
  - (2)沖縄県出身海外移住者の子弟で、主たる住所を海外に有し、県内大学、大学院に在学する者
- 2 採用予定人数: 1 高校生.....45人程度  
2 大学生.....180人程度  
3 大学院生.....10人程度  
4 専修学校生.....14人程度  
5 高等専門学校生.....若干名  
6 沖縄県出身海外移住者子弟.....若干名
- 3 募集期間:平成16年3月19日(金)~平成16年4月16日(金)  
(郵送の場合も4月16日必着)
- 4 問い合わせ:  
〒900-0034 沖縄県那覇市東町 沖縄県那覇東町会館7階  
沖縄県国際交流・人材育成財団 奨学係  
電話:098-941-6744 FAX:098-941-6811

## 高規格救急車運用開始について

本部町・今帰仁村消防組合、今帰仁分遣所に新しい救急車、高規格救急車が導入され、平成16年1月9日から運用開始しています。

高規格救急車とは、救急救命士による3点行為(除細動・気道確保・輸液)が出来る救急車です。

1. 除細動とは、痙攣している心臓に対し、電気を流し元の状態に戻す
2. 気道確保とは、肺に酸素を取り入れやすいようにする
3. 輸液とは、一般に言われている点滴

※救急車を正しく利用しましょう

▶今帰仁分遣所に導入された高規格救急車



## 救急救命士誕生

本部町今帰仁村消防組合に7人目の救急救命士が誕生しました。6ヶ月間の救急救命士の研修を終え晴れて国家試験に合格しました。



松田 聡 今帰仁村運天出身

6ヶ月間の研修を終え、そこで得た知識・技術を活かし、一生懸命がんばります。

学生の方で収入がなく、国民年金保険料が納められない!

## 学生納付特例の申請手続きを!

(在学期間中の保険料を社会人になってから払うことができる制度です。)

### 対象となる学生は

大学(大学院)、短大、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校※その他の教育施設の一部に在学する20歳以上の学生等※であって、学生本人の前年の所得が68万円以下※であること。

### 学生納付特例の承認を受けた期間は

学生納付特例の承認期間中に、万一の事故や病気などで障害が残ったときでも、一定の要件を満たしていれば「障害基礎年金」が受けられます。

学生納付特例の承認を受けた期間は老齢基礎年金を受けるための期間に算入されますが、年金額の計算には入りません。

学生納付特例期間の保険料は、10年以内であれば追納できます。(さかのぼって納められます。)将来受け取る老齢基礎年金の受給額に算入されます。

### 申請手続きに必要なもの

- ① 学生証(コピー可)または在学証明書
- ② 年金手帳
- ③ 印かん

(本人が署名する場合は、押印は不必要です)  
・雇用保険被保険者離職票(コピー可)  
・雇用保険受給資格者証(コピー可)  
等もあわせて添付してください。

### 4月より受付開始

承認期間は、4月(または申請月の前月)から翌年の3月までです。  
4月から制度の適用を受けたい方は、5月末までに申請してください。

申請手続きは、今帰仁村役場福祉課国民年金担当係で  
(TEL56-4189)  
在学期間中は、毎年申請手続きが必要です。

村には皆様の様々な悩みにお答えするための  
相談窓口があります。相談は無料で秘密は  
守られます。お気軽にご相談下さい。

◎法律相談

(相談員) 玉城嵩男 弁護士

◎行政相談

(相談員) 新垣 侃 TEL56-3148

◎人権相談

(相談員) 謝花勝子 TEL56-2716

三輪茂穂 TEL56-5197

新城 元 TEL56-3640

上間悦子 TEL56-3254

とき 平成16年3月17日(水)午前10時～午後3時  
ところ 村コミュニティセンター

第8回「健康ウォーキングの集い」  
参加者募集

- ・期 日 3月21日(日)  
(毎月第3日曜日開催)
- ・集合・受付 午前7時、保健センター
- ・スタート 午前7時15分
- ・距離 約3km～8km
- ・解散 午前9時



8時30分～9時気功法で整理体操を行います。

※注 意 1. 軽装で必ず帽子着用  
2. 水筒持参でお願いします。

・コースは会場(保健センター)で説明  
主催・今帰仁村役場 主管・保健予防課

問い合わせ先 保健センター(島袋)  
TEL56-1234

保健師だより

フレッシュママ教室が  
終了!

今回は、0歳児から3歳児の子  
を持つ母親を対象にした「フレッ  
シュママ教室」を紹介します。

子育ては、楽しい事だけではあ  
りませんよね?

毎日の育児は、大変なこともた  
くさんあるものです。

育児の忙しい毎日の中で「家事  
や育児に追われ自分自身の時間  
がない!」

「リラックスする時間が欲しい!」  
「自分自身を見つめ直したい」と  
考えたことはありませんか?

この教室は、そう考えている母  
親のための教室です。

優しい音楽が流れ、リラックス  
した雰囲気の中で様々な心のエク  
ササイズを体験してもらいます。教  
室の内容は、参加してのお楽しみで  
す。今年度も10名の方が参加し、  
7回のプログラムを終了しました。  
参加者からは、いろいろな感想を

頂きました。

村保健センターでは、フレッシュ  
ママ教室だけでなく、乳幼児の子を  
持つ親のための教室を開催してい  
ます。村広報、乳幼児健診等で随時  
紹介しますのでぜひご利用ください。

参加者の感想

- ・育児が楽しくなりそう、毎回参加して  
楽しかった。リラックスできた。
- ・子育て中の仲間と会話ができ、良かった。  
知り合いもできた。他の母親にも教えてあげたい。
- ・教室に参加してリフレッシュできた。

などなど…。



フレッシュママ教室の様子



育児仲間、  
この指とまれ!

日頃、部屋で過ごす事が  
多い親子の皆さん、気分転  
換にちょっと外に出てみま  
せんか? 「子供と気軽に遊  
べる場所が欲しい」「ゆんた  
く仲間を作りたい」と考え  
ている方、ぜひ保健センタ  
ーをご利用下さい。

おもちゃや、絵本もあり  
ますよ!

場 所 今帰仁村保健センター  
開放日 毎週月曜日

午前10時～  
午後四時

お問い合わせ

電話 56-1234



# 3月 / 弥生

1 月	○健康相談 (8:30~11:30)
2 火	
3 水	○リハビリ ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○仲村昇教授三宅賞受賞祝賀会 (18:00~ コミセン)
4 木	○離乳食実習 (13:30~)
5 金	○区長会 ○操体法 (10:00~ 湧川公民館)
6 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
7 日	○人形劇「あやうしズッコケ探検隊」 (13:30~ コミセン)
8 月	○健康相談 (8:30~11:30)
9 火	○ゆいまーる (与那嶺)
10 水	○リハビリ ○県立高校入試 (11日まで) ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○ゆいまーる (奥我山)
11 木	○ゆいまーる (諸志)
12 金	
13 土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
14 日	○乙羽朝市 (7:00~ 中央公民館) ○今帰仁中卒業式
15 月	○健康相談 (8:30~11:30) ○ゆいまーる (仲尾次)
16 火	○牛セリ市 (10:30~) ○ゆいまーる (運天)
17 水	○リハビリ ○県立高校合格発表 ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○ゆいまーる (古宇利) ○無料法律相談 (10:00~ コミセン)
18 木	○デイケア ○ゆいまーる (今泊)
19 金	○ゆいまーる (渡嘉仁) ○操体法 (10:00~ 湧川公民館)
20 土	春分の日 ○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○親子ふれあい陶芸教室 (14:00~ コミセン)

21 日	○第8回健康ウォーキングの集い (7:00~)
22 月	○区長会 ○健康相談 (8:30~11:30)
23 火	○今帰仁小、兼次小卒業式
24 水	○リハビリ ○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○天底小、古宇利小、湧川小卒業式
25 木	
26 金	
27 土	○村立保育所卒園式 ○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
28 日	○子ども会20周年記念イベント (9:30~ 運動公園)
29 月	○健康相談 (8:30~11:30)
30 火	
31 水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン)

# 4月 / 卯月

1 木	
2 金	
3 土	
4 日	
5 月	○区長会 ○健康相談 (8:30~11:30)
6 火	
7 水	○湧川小、古宇利小入学式 (午前)

**ご寄付**  
村社会福祉協議会へ  
○仲宗根護さん(今泊三〇八〇)より母、ウシ様の香典返しとして十万円  
村育英会へ  
○宮里政林さん(那覇市壺屋二一四・三二一、越地出身)より叙勲受章を記念して十万円  
ご芳志ありがとうございました。

今帰仁村子ども会結成20周年記念イベント

**子どもたち集まれ~!!**  
**みんなであそぼう**  
**フェスティバル**

いつ:平成16年3月28日(日) ぞぜん9:30より  
どこで:今帰仁村運動公園  
だれが:今帰仁に住む小学生以上の子どもたち  
(※中高生のボランティアスタッフ募集中)

**<内容>**  
・走って転んでGoゴゴー! ・空き缶タワー ・海辺のクラフト  
・みんなでマキマキ“50mのおすし作りに挑戦”  
・おいしいゆしどうふにバザーもあるよ!

**<連絡先>**  
今帰仁村教育委員会  
56-2645

主催:今帰仁村子ども会育成連絡協議会



沖縄の歴史・文化を学びながら、今帰仁村民と交流を続けている山形県の「リゾート大学沖縄酒田村」(庄司茂団長)の一行十二名が一月十九日、本村を訪れた。

翌日には、今帰仁城跡や文化センターなどをゆつくりと見学。その後、梯梧荘で歓迎のパーティーが和やかに開かれ、新里直子琉舞道場や商工会員の皆さんによる「琉球の舞踊」を楽しんだ。

また、与那嶺区公民館で、ゴーヤーチャンプルーなどの琉球料理づくりに挑戦した後、今泊区の福木並木や乙羽岳森林公園を散策、仲宗根区民との交流会も行われた。

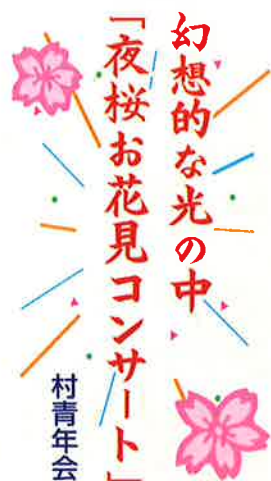


▶今帰仁城跡で記念撮影

団長の庄司茂さんは「皆さんの温かいもてなしに感激した。長寿県沖縄のパワーを持ち帰りたい」と喜んでいました。



▶島海音頭を披露する酒田市の皆さん



時々、小雨が降る二月八日「夜桜お花見コンサート」(主催・村青年団協議会)が今帰仁城跡で行われた。

大庭でのコンサートには、寒い中、村内外から約四百人が訪れ、県内で活躍中の「遊遊」と「そら」のさわやかな歌声を楽しんだ。

平郎門からの両側の石段には、共にコンサートを盛り上げようと、村青年会が今帰仁中学校の生徒に協力して出来上った四百個のペットボトルの灯ろうが一つずつ灯



▶「そら」の目につくった 曲を歌った「そら」

一つずつ灯された。村青年会長の比嘉均さんは「天候が悪く心配だったが、生徒たちと一緒に楽しんだ。毎年計画していきたい」と話した。



今泊

## シリーズ今帰仁の動物たち ②

### メジロ

—メジロ科—

全国で6亜種に分類され、本島等で生息しているリュウキュウメジロは最も小型で、脇や胸が白っぽく赤褐色にならないことで本土のメジロと識別でき、舌の先がブラシ状で花の蜜を吸うために適した構造になっています。

目のまわり(アイリング)が白いことから目白と呼ばれ、白く細い羽毛が2~3重に生えくちばし側で切れてC状になっています。

他に南北大東島にダイトウメジロが生息し、また、メジロ科ではありませんが小笠原にはメグロが生息しています。

メジロは村内いたる所で見られ、かご鳥として馴染みのある鳥ですが飼養には村長の捕獲許可、飼養許可が必要です。

観察地 (村内各地)

沖縄県鳥獣保護員 (仲村渠智)